

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

ス ペ ダ ギ 阿 東 プロジェクト
Spedagi Ato Project

「世界ヴィレッジデザイン会議」

2016年8月5日(金) — 7日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA、阿東文庫(山口市阿東) ほか

世界に散らばる多層な文化、それを織りなす「村」のチカラ—
これから先の「生き方」のヒントは「村」にある！

山口情報芸術センター [YCAM] では、山口市阿東地区を拠点に、地域資源を用いた活動を通じて、持続可能な社会の可能性を描き出すプロジェクト「Spedagi Ato (=スペダギ阿東)」のキックオフイベントとして、「世界ヴィレッジデザイン会議」を3日間に渡って開催します。

本イベントは、2つのプログラムから構成されます。前半の2日間は、インドネシアでプロダクトデザインを通じた持続可能な農村の構築に取り組むシンギー・カルトノ氏が、村おこしに関する国際会議「村おこし国際会議 (ICVR 2)」を阿東地区で実施。トークイベントやフィールドツアーを通じて、異なる地域や世代を超えた参加者が、中山間地域の実態を理解し合い、これからの持続可能な社会について合宿形式で議論します。また後半では、会場をYCAMに移し、国内外から招いたゲストとともに、阿東地区での国際会議を振り返り、今後の展望を話し合います。

「村」に根付いた知恵の底流と未来へのアイデアが交わり、多様な議論が飛び交う3日間に是非ご参加ください。



写真(上)：阿東文庫に設立した「Spedagi Ato」のプロジェクト室の様子
写真(下)：インドネシア製のバンブーバイク

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

プロフィール

■ シンギー・カルトノ

1968年インドネシア・カンダンガン村出身。2004年に小さくて機能性の高い木製のクラフト製品を扱う「Piranti Works」を創業、「magno」ブランドを立ち上げる。magnoの木のラジオは国際的な賞を多数受賞し、世界中のメディアに掲載される。2011年、ソーシャルデザイン活動である「Spedagi」をスタート。経済活動と人材が大都市に集中する一方で衰退してゆく村の状況に危機感を感じ、その解決策を探るため2014年から2年に1度、村おこし会議である「ICVR」を開催している。

■ 阿東文庫

2006年に廃校となった山口市阿東地区、亀山小学校に不要となった本を回収して集め、約6万冊を収蔵した私設図書館。農業雑誌や文学、美術、宗教、マンガなど、市立図書館とはひと味違うさまざまな分野の書籍を扱う。現在では、バンブーバイク製作拠点としても機能し、阿東文庫の代表である吉見正孝氏をはじめ、ここに集まる住民たちは「既成事実をつくってしまえばいい」というパンクなDIY精神に満ちている。

■ 株式会社オープンハウス

東京造形大学をはじめ、国内外の大学や研究所でサステナブルデザインのプロジェクトをおこなう益田文和氏が1991年に設立。2013年6月に水道、電気、ガスといったインフラやライフラインに頼らないオフグリットな環境を目指し山口県宇部市へオフィスを移転する。日本のみならず、アジアの地域と連携しながら、デザインの構想力で暮らしと仕事の形を問い直し、実践しているデザイン集団である。

■ miri meter

2000年、宮口明子、笠置秀紀によって活動開始。建築、フィールドワーク、プロジェクトなど、ミクロな視点と横断的な戦術で都市空間や公共空間に取り組む。日常を丹念に観察し、空間と社会のさまざまな規範を解きほぐしながら、一人ひとりが都市に関われる「視点」や「空間」を提示する。プロジェクト＝「鳥取藝住祭川と路2016」「Tents24」「Public Party Kit」「アーツ前橋交流スペース」ほか。東京で磨かれたソリッドな視線は、過疎地域（最前線）の空間をどう切り取るのか。

■ YCAM 地域開発ラボ

2013年からスタートしたラボ機能。YCAMがこれまでに培ってきたメディア・テクノロジーの知識や経験を活かして、山口市民による創造的な市民活動のアシスト、伝統技術や地域リソースの研究、地域課題を可視化するためのプラットフォームづくりなどをおこなう。

開催概要

スベダギ 阿東 プロジェクト
Spedagi Ato Project

「世界ヴィレッジデザイン会議」

2016年8月5日(金)～7日(日)

※5日～6日は要予約、7日は申込み不要

村おこし国際会議 (ICVR2)

8月5日(金) 14:00～20:00、6日(土) 10:00～20:00

会場：阿東文庫

定員：30名

料金：無料

要申込(※申込み方法は右記をご確認ください。)

YCAMセッション

8月7日(日) 13:00～17:00

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

定員：150名

料金：無料

申込不要

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

協力：The 2nd International Conference on Village Revitalization 2016、阿東文庫、spedagi Japan、

株式会社オープンハウス

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

「How to make a bamboo bike バンブーバイクができるまで」

2016年7月16日(土)～8月29日(月) 10:00～20:00

火曜休館(祝日の場合は翌日) 無料

山口情報芸術センター [YCAM] インフォメーションスペース

「Spedagi」のシンボルであるバンブーバイクについて、これまでのプロセスや、バンブーバイクのビジョンを紹介する。

「bamboo play—竹の風車をつくって遊ぼう！」

2016年8月7日(日) 10:00～12:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオAロビー

定員：20名(先着順：要申込) 無料

インドネシアのゲームデザイナーを招き、旧暦の七夕の日になんでインドネシアと日本の竹や葉っぱを使って、音の出る風車をつくり、ゲームをおこなうワークショップ。

■ 申込方法

下記のウェブサイトアクセスし、「応募する」ボタンをクリック。フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

<http://wvd.ycam.jp>

8月5日・6日両日参加者のみ応募可。定員に達し次第、受付を終了します。

5日・6日の注意事項

- ・ウェブページでの事前申込みとなります。
- ・宿泊場所については、近隣の空き家での宿泊になります。
- ・シェルフ、寝袋は持参となります。(ない場合は相談可)
- ・会場までの交通費は別途必要となります。
- ・お風呂代、飲食代も別途必要となります。

■ ワークショップ申込方法

参加を希望するイベント名とその日付・住所・名前(ふりがな)・性別・生年月日・電話番号またはメールアドレスなど連絡先を明記の上、メールまたはYCAM1階チケットインフォメーションにてお申込みください。

メールアドレス：

reserve@ycam.jp